

岐阜市(岐阜県)の一体的実施

平成24年4月2日事業開始

市とハローワークが連携して、市役所(南庁舎)福祉事務所生活福祉課内の「はたらき支援ルーム」にて職業紹介等を実施。

市

生活相談等の実施

国

職業紹介・職業相談の実施等



① 事業内容

- ・就職支援ナビゲーターより、市役所福祉事務所生活福祉課内のはたらき支援ルームで生活困窮者に対して求人情報の提供、職業相談や職業紹介を実施

② 協定・事業計画

- ・岐阜市長と岐阜労働局長の間で協定(*)を締結
 - ・数値目標を盛り込んだ事業計画を岐阜市と岐阜労働局の間で策定
- * 協定の実施等について相互に要望することができ、出された要望には誠実に対応する旨を規定。

③ 運営協議会

- ・岐阜市職員、岐阜労働局職員をメンバーとする運営協議会を設置

この協定の締結により、生活困窮者の早期就職に向けた就労支援の強化・充実が図られ、自立への支援の一層の強化と利便性向上を実施。

(1) 実施体制

岐阜市

- ・ 面接相談員、就労支援員、キャリアカウンセラー、ケースワーカーを配置

国(ハローワーク岐阜)

- ・ 就職支援ナビゲーター3名を配置
- ・ 求人情報提供用のパソコン1台を配置

(2) 事業目標と取組状況(25年度)

事業内容	事業目標(年度)	取組状況 (平成25年10月末時点)
生活困窮者に対して求人情報の提供、職業相談、職業紹介等の実施	支援対象者 1,310名 就職者 389名	支援対象者数 706名 就職者 207名

“豊饒” 人間主義都市 岐阜市

～人が織りなす絆とともに～

岐阜市長 細江茂光



- ◆ 市の福祉事務所では、生活保護を受けている市民の方への就労支援として、平成22年度から就労支援員を配置し、就職の決まらない方や、長期間就労されていない方を対象に、就労支援プログラムやキャリアカウンセリングによる相談・支援を行ってきました。
- ◆ 平成24年度からは、この市の行う就労支援と、ハローワーク岐阜が行う職業紹介や職業相談業務を、ワンストップで行うことができるよう、生活福祉課内に「はたらき支援ルーム」を開設いたしました。市のケースワーカーや就労支援員とハローワークの職員が連携して、より細かな就労相談・支援を行っています。
- ◆ これにより、生活保護を受けている方のみならず、生活困窮のために相談窓口を訪れた方に対して、よりタイムリーな相談・支援が可能となり、平成24年度は1,090人を支援し、303人が就職、112人が生活保護から脱却することができました。
- ◆ このように生活保護をはじめ、福祉サービスを提供する市と、職業紹介・相談を行う国とが、一体となって連携・協力する取り組みは、今後、増加が懸念される生活困窮の方への早期自立に向けた、新たな支援として大いに期待できるものです。
- ◆ 本市の掲げる、人と人との支え合う「人間主義都市」の実現に向け、国と自治体が手を携え、積極的な支援を進めてまいります。

一体的実施事業（岐阜市）による就職成功例

男性：50歳代・希望職種：製造・清掃

① 求職者の課題

- ・ 関西出身で土地勘もなく、運転免許が無い。過去に2年足らず製造業を経験したが、職業知識が不足し特別なスキルがない。

② 紹介の経過

- ・ 希望職種が広範囲で定まらず、資格や経験の必要性に理解もなく、仕事内容の説明を詳細に行うことから始めた。
- ・ 過去の仕事の経験談を傾聴し、適職の範囲や選択に考慮しながら、求人への検索と提案、助言を行い本人の理解を促した。

③ 結果

- ・ 青果物の倉庫管理・清掃（フルタイム）に就職。

④ 職業相談員の所感

- ・ 支援中、病気による中断もあったが、生活設計の機会であることを説得し就労意欲の維持に努め、毎週2社以上の応募目標を立て実行を促したことが良い結果につながったと思います。

⑤ 本人のコメント

- ・ こんな私でも就職できるとは思いませんでした。本当にありがとうございました。このチャンスを活かして生活を立て直したいと思っています。

男性：30歳代・希望職種：倉庫作業

① 求職者の課題

- ・ 生活保護受給開始から2年経過しているが、求職活動も殆どしていない。
- ・ 両手の甲までかかる、タトゥーが見られ就職への困難が予想された。

② 紹介の経過

- ・ 初回面談に遅刻、その後も遅刻や欠席を繰り返しており、必ず相談日に来所するよう説得を継続した。倉庫作業に固執されたが通勤困難で応募に至らず。相談の中で現在働いている週2日のバーのアルバイトの話から将来は自分の店を持ちたい夢を語られ、視点を変え求人への検索と助言を行った。

③ 結果

- ・ バーのホールスタッフ（フルタイム）に採用。

④ 職業相談員の所感

- ・ 最初、就労意欲も見られず相談日の遅刻も多くて、職業相談が進みませんでした。粘り強く相談に来るよう説得をしたことが、本人の希望を引き出すきっかけとなり、就職に繋がったと思います。

⑤ 本人のコメント

- ・ 就職が決まりありがとうございました。本当にうれしいです。

一体的実施事業（岐阜市）による就職成功例

男性：40歳代・希望職種：製造

① 求職者の課題

- ・小学生の時に重度の吃音症を患い、自分の気持ちが伝わらない。
- ・20年勤めた縫製会社を人間関係で退職し、その後5年間の求職活動をするも就職が出来ず自信喪失。

② 紹介の経過

- ・ハンデがあるものの、几帳面で真面目な性格を会社に伝えること、また、一人で面接に向かえるよう、毎回1時間以上のカウンセリングや面接シュミレーションを繰り返し行うことにより、自信をもって意欲的に応募出来るよう支援した。

③ 結果

- ・染色工場に正社員として就職。

④ 職業相談員の所感

- ・最初就職を諦め、投げやりの態度であったこともあり、市の就労支援員も面接に同行する等、サポートに努めたが求人者から吃音症=仕事が出来ないとの誤解を招いた。このため一人で面接に行くよう本人に説明し了承された。手厚い支援のつもりが、本人の自立性を損ない求人者の採用選考に誤解を与えた事例として、これから気をつけたい。

⑤ 本人のコメント

- ・5年間就職活動をして採用されず、就職できたのが夢のようで、現実として実感がありません。うれしいです。

男性：50歳代・希望職種：営業

① 求職者の課題

- ・経験の無い営業職に固執していたが、車の運転経験も殆ど無い。
- ・自宅に籠ることでストレスを感じていた。

② 紹介の経過

- ・過去の職歴は、食品店頭販売の経験が長いが、営業職に応募を重ねるも採用に至らず焦りも見られた。
- ・どうすれば就職出来るか一緒に考え、求人検索と提案、助言を行って希望職種を幅広く考えるよう促し、焦りやストレスを徐々に解消させた。

③ 結果

- ・施設警備（銀行）の正社員として就職。

④ 職業相談員の所感

- ・営業職に拘っていましたが自立するには、どうしたらよいかを一緒になって考え、本人も前向きに思い直して求職活動を行ったことが良い結果に繋がったと思います。

⑤ 本人のコメント

- ・一緒に考えていただき 良い結果ができました。ありがとうございました。